令和6年度　自己評価及び学校関係者評価書

令和7年4月10日

学校法人　帯広学園

学校関係者評価委員会日時　令和7年3月12日（水）14:00〜15:00　場所：帯広調理師専門学校

会議出席者　　平賀文彦（高等学校関係者）　　立川健（業界団体関係者）　　宇佐美秀明（卒業生）

（敬称略）

学校参加者　　遠藤崇浩（理事長）・遠藤珠子（学校長）・辻野裕義（副学校長）・佐藤裕恒（専任教員）・村上政美（総務教員）

目的

1　理念等を実現するための具体的な目標・計画・方法が定められている
2　理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいる
3　学校内に関わらず、実習の実施にあたって、関連業界からの協力を得ている

1　令和6年度の重点目標

1　本校の特色を様々な媒体を通して積極的に発信するなど、生徒募集を最優先に取り組む
2　「共有」「協働」「共感」の学校運営を推進する
3　主体的・実践的なコミュニケーション能力の育成を図る

2　令和6年度の経営方針

社会の変化や「食」を取り巻く環境の変化と生徒の状況等を的確に把握し、学校運営に反映するとともに、全職員がそれを「共有」し、具体的な取組の場で「協働」するなど、組織的な推進に努める

3　自己評価結果に対する学校関係者評価　　（A･B･C採点）

分野	評価項目	自己評価		学校関係評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
重点目標	重点目標の内容は、学校や学生の実態からみて、適切である	A	生徒がSNSを通し、学校の授業風景等を発信している。その他、実技試験については放課後等に個々課題克服のための指導をしている	A	A
	学校の理念・目的・特色等を学生・保護者等に周知されているか	A	入学式に保護者に時間を設けて説明し、学生に対してはオリエンテーションを数回に分け行い周知した	A	A
学校関係者評価者による意見	SNS等様々な媒体を通して学校の特色を発信しており、目標生徒数を達成できて良かった				
教育指導	人材育成目標の達成に受けて授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	A	業界で活躍している方を講師に招いている。また、卒業生や関連業界から講師を招き特別講習を行っている	A	A
	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	免許取得に向けた１年間の学習活動を把握させるとともに、見通しをもって計画的に学習に取り組むことができるよう指導している	A	A
学校関係者評価者による意見	関連業界から講師を招き、材料の提供を受けた食材を使ったメニューの開発などがとても良いと思う				
学生支援	進路・就職に関する支援体制は整備さえれているか	A	企業説明会や校外実習を経験するで就職に対する意識付けができ前向きに就職活動に取り組めていた	A	A
	学生に対する経済的な支援制度は整備されているか	A	学費の支払が困難な学生に修学支援金や奨学金等を利用し生徒個々に合わせた対応ができた	A	A
学校関係者評価者による意見	企業説明会を早期に行うことにより就職への意識付けとなり、管外へ9名（うち2名は道外）就職するなど前向きな就職活動ができ良かった。				

改善策・次年度に向けた取組

・少子化により生徒数が減少となるため社会人募集の強化と拡大に取り組む。

・関連業界との活動を長く続けていけるよう取り組んでいく。